

列車の屋根上から発煙した事象について（七尾線）

2025 年 1 月 25 日、七尾線中津幡駅で、列車の屋根上から発煙する事象が発生した事象について、詳細な原因は調査中としていましたが、調査が完了し、原因が判明しましたので、対策と合わせてお知らせします。

ご利用のお客様にはご心配とご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

1 発生日時

2025 年 1 月 25 日（土）12 時 50 分頃

2 発生場所

七尾線 中津幡駅 構内

3 列車名

普通列車 2 両編成

金沢駅（12：31）発 七尾駅（14：14）着

ご乗車のお客様：約 150 名

4 概況

12 分 50 分頃、当該列車の運転士は、中津幡駅停車中、お客様より「屋根上から発煙がある」と申告を受け、屋根上からの発煙及び火が出ているのを認めたため、車両の確認を行いました。

その後、13 時 15 分に消防による消火活動が完了し、14 時 11 分に鎮火が確認されました。

この影響により七尾線津幡駅～和倉温泉駅間で運転を見合わせていましたが、20 時 11 分に全区間で運転を再開しました。

※ご乗車のお客様にお怪我はありませんでした。

5 列車影響

<運 休> 計 22 本（上り 12 本、下り 10 本）

<影響人員> 約 1,710 名

6 主な原因

交流電源から直流電源へ切り替わる区間において、車両側の電気回路を交流から直流に切り替えられなかった場合など、屋根上の交流機器に直流電気が流れることを防ぐため、主ヒューズにて直流電気を遮断します。今回は、主ヒューズ内部の劣化により遮断機能が正常に動作しなかったこと、パンタグラフが架線と接し続けていたことにより、主ヒューズに直流電気が流れ続け、主ヒューズ内の温度が急激に上昇したことにより損傷に至ったと推定しています。

7 対策

主ヒューズ内部が劣化による影響を受ける前の適切な期間で、主ヒューズの取り替えを実施します。